

今月のこの1冊

うさこちゃんとふがこちゃん
ディック・ブルーナ ぶん／え
オランダのグラフィックデザイナーで絵本作家のディック・ブルーナにより1955年に「うさこちゃん」は誕生しました。ブルーナカラーと呼ばれる特別な8色の色だけが使われた絵本は、約40ヶ国語に翻訳され世界中で親しまれています。本作は33冊目のうさこちゃんの絵本です。

うさこちゃんのような白い長い耳だったらいいなと思っているふがこちゃん。そんな、ふがこちゃんのためにおばさんのうたこさんがしてくれたことは・・・。



新着本案内 (主なもの)

- ★ 一般書 ★
- 「それでも彼女は歩きつづける」 大島真寿美
 - 「ハロワ！」 大久保健彦
 - 「獅子頭 シーズトォ」 楊逸
 - 「用心棒血戦記」 鳥羽亮
 - 「プリズム」 百田尚樹
 - 「眼鏡屋は消えた」 山田彩人
 - 「異国のおじさんを伴う」 森絵都
- ★ 児童書 ★
- 「くさはら」 酒井駒子
 - 「ひるねのね」 あべ弘士
 - 「ぞうくんのクリスマスプレゼント」 レナード・ワイズガード
 - 「てぶくろチンクタンク」 きもとももこ
 - 「ドレミファ荘のジジルさん」 たかどのほうこ

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

- ◇子どもの広場『クリスマス会』
内容 「スノードームづくり」と「クリスマスのおはなし会」
持ち物 ハサミ サインペン
日時 12月11日(日) 10:00～
場所 町民センター2階 中会議室A
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221
- ◇12月のおはなし会 (第2土曜日、第3水曜日) ◇
日時 12月10日(土) 10:30～
12月21日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動の定着・推進を図ります。

*文芸

開成町俳句協会

俳句

今年また友より届く林檎かな
マラソンのおとこ枯野に吸いこまれ
おみくじを結んだ枝の返り花
おみくじを結んだ枝の返り花
遠藤まつ子
遠藤美津子
奥津ちわき
鳥海美代子
芝田 みち子 選

久方の亡夫の墓参や新酒買う
遠藤まつ子
「新酒」が題であった。秋に入って一番に出る酒。久々に亡夫の墓前に大好きだった新酒をそなえた。

ともしび短歌会

短歌

十月詠

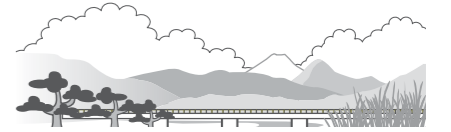
秋風と思ふ朝の吾が庭を
住処と決めし糞虫ひとつ
諸星 末子
洗練された詠みぶり、糞虫を偶々発見したという。この歌から「枕草子」の「虫は」(糞虫の件)を思い出す人も多いでしょう。時代を超えて題材・情景を共有できるのも短歌の魅力と言える。

虫といへどたった一つの重いいのち
殺すをためらふ嫌ひな虫をも
石井はま江
全体的に字余りが多いが、気にならない。却ってこの歌の内容の深さを物語っている。上の句で「重いいのち」と詠み、だからこそ思いが、下の句における倒置法によって強く生かされている。

三人の孫のたどりし道なれば
高校野球は今も見逃さず
府川ハツエ
お孫さん三人は、高校時代、みんな野球部に所属し、活躍後、卒業された。それが縁で、大の高校野球ファンとなり、現在も欠かさず見ているという。作者の熱狂的な観戦ぶりが想像できる短歌。



ぶらりと歩きながら開成町の文化を発見、歴史を再確認してみませんか。開成町に残る遺蹟を紹介します。



庚申塔



下鳥児童館あとの「庚申塔」
下に彫られているのが三猿



庚申信仰は、七草がゆや七夕と共に中国の道教という宗教により伝えられ、不老不死をめざす延命信仰として全国にひろまりました。信仰の内容は、人の体には三戸という虫が棲んでいて、その人の罪を記録する。六十日に一度巡ってくる庚申の夜に、睡眠中の体から抜け出し、天の神さまにその数を伝える。罪の数が合わせて五百になると、その人に死が命をさるといふものです。そのため人々は、庚申の夜は一晩中起きていて語り合い、三戸を天に行かせないことで、延命を祈願したのです。

庚申塔は願いがかなった時に建てられ、町内では酒田地区に七基、吉田島地区に三基が確認されています。庚申の祭神は、仏教では青面金剛とその使者の猿、神道では猿田彦神です。塔の表面に青面金剛や三猿(見ざる、聞かざる、言わざる)の像が彫られていたり、猿田彦神や庚申塔の文字が刻まれています。

町内の各地区各庭で、江戸時代からつづいていた庚申講は、太平洋戦争と共に次第に解散となりました。

(文責 文化財保護委員会 府川 京子)

駐在所
だより



松田警察署
延沢駐在所 ☎83-5434
吉田島駐在所 ☎83-5457

「年末の交通事故防止運動」

無事故で年末 笑顔で新年
12月11日(日)～20日(火)の10日間、「年末の交通事故防止運動」が実施されます。
年末は、交通量や飲酒の機会が増加などで交通事故が多発することから、一人一人が交通安全について考えてもらうことで、交通事故防止の徹底を図ります。

■重点項目

- ①飲酒運転の根絶
「少し飲むだけなら大丈夫」「短い距離だから」・・・そんな軽い気持ちでハンドルを握った結果、取り返しのつかない事態を招いてしまうかもしれません。
飲酒運転の代償の大きさを体験してからは手遅れです。「のんだら のるな」「のるなら のむな」を徹底しましょう。
- ②歩行者(特に高齢者)と自転車との交通事故防止
自転車の無灯火運転は危険です。自分の存在を知らせるためにも、必ずライトを点灯しましょう。夕暮れ時には、早めのライト点灯を心がけましょう。
歩行者は明るい色の目立つ服や反射材を身に付け、周囲に自分の存在を知らせましょう。
また、高齢者の方は、自宅付近や道路横断中の事故が多くなっています。必ず周囲の安全を確認し、無理な横断はしないようにしましょう。
- ③すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
後部座席でのシートベルトやチャイルドシートの必要性について正しく理解し、正しい着用を徹底しましょう。